

先進諸国の産業調整と発展途上国

山澤逸平・平田 章 編

先進諸国の産業調整と発展途上国

山澤逸平・平田 章 編

アジア経済研究所

先進諸国の産業調整と発展途上国

やまざわいつべい
山澤逸平
ひらた あきら
平田 章
うら たしゅうじ ろう
浦田秀次郎
なかきた とおる
中北 徹
おきだ ひろし
長田 博
おの だきん や
小野田欣也
こはまひろひさ
小浜裕久
かじわらひろかず
梶原弘和
よこた かずひこ
横田一彦
やまおか かな こ
山岡加奈子
いしぎき な お
石崎菜生
おくだ ひでのぶ
奥田英信

Peter B. Doeringer
Raymond Vernon
Subramanian Rangan
F.M. Scherer
Linda Kaboolian
Paul P. Streeten

Sheila Page
Adrian Hewitt
David Evans
Tudor Miles
Stephen Wilks
Donald Roy
Christopher Stevens

—執筆順—

先進諸国の産業調整と発展途上国

研究双書410

1991年3月30日発行©

編者 山澤逸平・平田 章

発行所 アジア経済研究所

東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)4231 (代)

印刷所 勝美印刷株式会社

ISBN4-258-04410-5 C3033



研究双書No.410

山澤逸平・平田章編『先進諸国の産業調整と発展途上国』

英文表題および目次

Title

Senshin-syokoku no Sangyō-Chōsei to Hatten-Tojō-koku

(Industrial Adjustment in Developed Countries and Its Implications for Developing Countries)

Edited by

Ippei YAMAZAWA

Akira HIRATA

Contents

Introduction Industrial Adjustment and Developing Countries

Part I Industrial Adjustment in Japan and Its Implications for Developing Countries

Part II Industrial Adjustment in the United States and Its Implications for Developing Countries

Part III Industrial Adjustment in Europe and Its Implications for Developing Countries

[Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 410]

Published by the Institute of Developing Economies, 1991

42 Ichigaya-Hommura-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 162, Japan

目 次

まえがき

序 説 先進諸国の産業調整と発展途上国へのインパクト…………… 3

第1部 日本の産業調整とその発展途上国への インプリケーション

第1章 日本における産業調整：研究目的と課題…………… 13

第2章 1980年代日本の産業構造…………… 17

第1節 マクロ経済概況…………… 17

第2節 製造業の構造変化——生産・貿易・雇用——…………… 20

第3章 日本企業による産業調整と政府の政策…………… 27

第1節 合理化…………… 27

第2節 日本経済の多角化…………… 37

第3節 日本企業のグローバル化…………… 44

第4章 鉄鋼産業の産業調整…………… 55

第1節 世界鉄鋼産業の発展…………… 55

第2節 既存設備の合理化…………… 58

第3節 事業の多角化と国際化…………… 60

第4節	1990年代の日本鉄鋼メーカーの経営戦略	63
第5章	電子産業	66
第1節	日本の電子産業における生産と輸出の推移	67
第2節	日本の電子産業における国際化戦略	71
第3節	日本の電子産業のコスト削減と多角化	78
第6章	日本の乗用車産業の産業調整と国際化	80
第1節	1980年代の情勢と日本の乗用車産業の対応	81
第2節	日本の乗用車産業のリストラクチャリング	85
第3節	発展途上国に対する日本企業の戦略：東アジア 地域を中心にして	88
第4節	今後の展望，課題，結語	92
第7章	発展途上国への影響	95
第1節	産業調整と発展途上国	95
第2節	貿易を通じた影響	99
第3節	日本の直接投資の影響	105
第8章	日本の産業調整：結論	113
第1節	合理化とイノベーション	113
第2節	国際化と直接投資	114
第3節	発展途上国へのインパクト	115
第4節	産業調整の国際的枠組み	116
	〔第1部参考文献〕	118

第2部 世界経済の変革に向けてのプロダクト・サイクル論と産業調整政策

第1章	アメリカの産業調整とプロダクト・サイクル論	125
第1節	アメリカの地位の相対的低下	125
第2節	NICsの参入	126
第3節	アメリカ経済のパフォーマンスの問題点	128
第4節	プロダクト・サイクル論の枠組み	129
第5節	報告の概要	131
第2章	アメリカ経済の構造的変化	133
第3章	調整過程における国際貿易	141
第1節	貿易のもつ役割の増大	141
第2節	貿易の新しい経路	145
第4章	調整過程における海外直接投資	148
第1節	アメリカ企業の海外直接投資	149
第2節	アメリカ国内への外国直接投資	156
第3節	結 論	161
第5章	研究開発, 技術革新	163
第1節	電子産業	164
第2節	鉄鋼産業	179
第3節	自動車産業	186
第4節	結 論	192

第6章 労働市場調整と人的資源開発	195
第1節 労働調整サイクル	195
第2節 防衛的労働市場調整	197
第3節 実質所得の変化	198
第4節 革新的労働市場調整	204
第5節 小企業における労働調整	209
第6節 生産性と労働コストのトレンド	210
第7節 労働市場調整の政治経済学	212
第8節 将来への選択	213
第6章付論 自動車産業の雇用調整	218
第7章 発展途上国に対する産業調整のインプリケーション	226
第1節 新技術と産業立地	227
第2節 技術変化と発展途上国	230
第3節 インフォーマル・セクター：強さの源泉か弱さの源泉か	231
第4節 技術と投資：マキラドーラ	235
第5節 海外直接投資とマクロ経済政策	237
第6節 世界貿易と生産についての三つのシナリオ	240
第7節 結 論	244
〔第2部参考文献〕	246

第3部 ヨーロッパの産業調整とその発展途上国への インプリケーション

第1章	ヨーロッパの政治経済情勢(1979~90年)と90年代の課題	257
第1節	1980年代のヨーロッパ政治	259
第2節	共同体の政治	261
第3節	発展途上国に対する一般政策	262
第4節	政治発展	263
第2章	ヨーロッパにおける産業調整	264
第1節	南北関係	264
第2節	ヨーロッパでの調整実績と発展途上国への影響	266
第3節	労働需要変化への対応としての保護主義	273
第4節	1990年代のヨーロッパの産業政策	275
第3章	ヨーロッパの産業調整：鉄鋼業	279
第1節	要 約	279
第2節	1970年代の世界鉄鋼業の「危機」と積極的調整の必要	281
第3節	ECの鉄鋼業	286
第4節	将来展望	295
第5節	ECの鉄鋼業と発展途上国	297
第4章	1990年代におけるヨーロッパ自動車産業の調整	302
第1節	産業の範囲	303
第2節	調 整	312
第3節	政策変化の要約と過程	319
第4節	発展途上国への影響	323

第5章 ECのエネルギー部門における調整	326
第1節 ヨーロッパのエネルギー部門の統合度	326
第2節 エネルギー政策	327
第3節 1980年のエネルギー部門	329
第4節 エネルギー利用効率	330
第5節 1980年代のエネルギー政策と将来の展望	332
第6節 ECの燃料輸入	334
第6章 外国投資と企業規制	336
第1節 ECによる外国投資	336
第2節 産業規制の変化	342
第7章 発展途上国へのインパクト	349
第1節 カントリー・グループへのインパクト	351
第2節 ACP諸国	353
第3節 マグレブ、マシュレクなどの地中海諸国	354
第4節 南アジアと中国	355
第5節 アジアNICs	356
第6節 ラテンアメリカ	357
第7節 東ヨーロッパの変化からのインパクト	358
第8章 結 論	364
第1節 経済環境	364
第2節 政策環境	369
第3節 社会環境	371
第4節 発展途上国への直接的なインプリケーション	374
第5節 ヨーロッパの産業調整の見通し	377
[第3部参考文献]	382